

CITY OF YOKOHAMA

令和4～6年度

幼保小架け橋プログラム事業

成果報告会 <横浜市>

2025/02/10

横浜市こども青少年局保育・教育支援課幼保小連携担当



明日をひらく都市
OPEN X PIONEER

① 架け橋プログラムに取り組む市の概況

☆横浜の強み

- 大規模都市ならではの多様な取組
- 幼保小連携における歴史ある取組

**多様性と経験を
生かす**

①架け橋プログラムに取り組む市の概況

大規模都市ならではの多様な取組

園・学校ではそれぞれ、充実した保育・教育を目指して教育課程を編成している。

施設数

種別	小学校・義務教育学校	特別支援学校	幼保連携型認定こども園	幼稚園型認定こども園	私立幼稚園	市立保育所	民間保育所	その他
数	338	13	52	15	220	58	806	約600
公立幼稚園0					合計約2100施設（R5.4.1時点）			

①架け橋プログラムに取り組む市の概況

幼保小連携における歴史ある取組

昭和59年～(現在) 幼保小教育連携研修会開始

昭和59年～(現在) 幼保小教育交流事業<行政区ごとに毎年実施>

平成7年～(現在) 幼保小連携推進地区事業開始

<1小学校と近隣園のブロック約30地区で3年間実施>

平成31年～(現在) 接続期カリキュラム研究推進地区事業開始

<1小学校と近隣園のブロック約5地区で3年間実施>

★ 小学校には連携の要となる、児童支援専任教諭が全校に定数配置されている

②架け橋期のカリキュラムの概要及び作成プロセス

横浜市が考える架け橋期のカリキュラム

現状

- 園・学校で編成されている教育課程（カリキュラム）は多様であり、同じ枠組みには入れ込めない。
- スタートカリキュラム・アプローチカリキュラムもすでに多くの園・学校で作成し取り組んでいる。

「それぞれの園や学校が、今あるカリキュラムを架け橋の視点で見直し、運営・改善し続ける」ことを目指す

②架け橋期のカリキュラムの概要及び作成プロセス

スタートカリキュラムは編成したが、
実施状況が不十分な事例からの学び

- 作ったものの、実情に合わなくなったまま活用できない
- コロナ禍の中、交流ができなくなったことを機に消失
- 入学直後の1か月限定のカリキュラムであるという誤認識

スタートカリキュラムを工夫・改善しながら実施し、
効果を上げてきた事例からの学び

- 毎年学校の全職員で共有し、1年生の育ちを全校で見守る
- 近隣園と日頃より交流し、柔軟にカリキュラムを変更
- その年度ごとに、実施した内容を「足跡カリ」として残す

②架け橋期のカリキュラムの概要及び作成プロセス

横浜市が考える架け橋期のカリキュラム

実効性のあるカリキュラムとして

- ・ 園と学校が互いを知り、保育・教育活動に生かそうとすること
- ・ 効果的な取組の具体的な事例を知り、自園・自校のカリキュラムに反映させようとする事
- ・ 実際に取り組み、自ら運営・改善を図り続けること

「**それぞれの園や学校が**、今あるカリキュラムを架け橋の視点で見直し、運営・改善し続ける」ことを目指す

②架け橋期のカリキュラムの概要及び作成プロセス

「それぞれの園や学校が、今あるカリキュラムを架け橋の視点で見直し、運営・改善し続ける」

第**1**段階・・・

「園と学校との対話を**充実**させる」

第**2**段階・・・

「対話が充実し保育・教育に**生かされる**よう促す」

第**3**段階・・・

「保育・教育への反映を**持続可能**とするよう支える」

②架け橋期のカリキュラムの概要及び作成プロセス

第1段階 「園と学校との対話を充実させる」

～観(特に子ども観)の共有へ～



対話の「視点」と「ツール」を提供するために、「架け橋カリキュラムデザインシート」を作成・配布



連携推進地区や行政区
ごとの研修等での利用
による対話の機会が増
加した



②架け橋期のカリキュラムの概要及び作成プロセス

第1段階 「園と学校との対話を充実させる」

～観(特に子ども観)の共有へ～

園・学校から研究員を募り、

探究心を育む「遊び」研究会を開催(R4/5/6実施)

- ・年5回の研究会開催(講演会、実践交流等)
- ・校種等を越えたグループ編成による学び合い
- ・実践報告会・表彰を、市庁舎アトリウムで市民に向けて開催



②架け橋期のカリキュラムの概要及び作成プロセス

明日をひらく都市
OPEN × PIONEER
YOKOHAMA

第2段階「充実した対話が保育・教育に生かされるように促す」

～環境構成・既存の活動の見直し・実情に合った取組等～

○「架け橋プログラムだより」による事例等発信

○公開授業研究会・保育参観

○「実践事例集第9集」の発行

○学校HP用にバナー提供

○1年生の指導案に園での経験等の記入依頼

○小学校長会・小学校教育研究会等を通して説明・発信



②架け橋期のカリキュラムの概要及び作成プロセス

➡ 幼保小連携に対する意識の向上(園・校ともに)

- 市主催「幼保小教育連携研修会」への小学校教諭の参加
(R元年20名 ⇒ R6年156名)
- 子ども同士の交流実施園・校の増加
(前年比 園:48%⇒79% 小学校:58%⇒91%)
- 大人同士の連携活動実施園校の増加
(前年比 園:64%⇒91% 小学校:52%⇒80%)



③教師の指導・援助及び子どもの学びの変化

成果事例 1

「指導案に園での経験を書く」ことをきっかけに教師の意識が変化

- ・ 担任が活動を考えたり、子どもを見取ったりしていく中で、「園に聞いてみよう」と思えるようになってきた。
- ・ 導入において、「園ではどうだった？」という声掛けを行い、子どもたちの園での経験から授業の構成を考えたり、身に付けたい資質・能力が明確になったりといった変化が見られた。
- ・ 入学した後の子どもにどんな力が育ってきたんだろうと、10の姿を意識して職員で語り合いました。すると、不思議なことに、教師側が子どもの育っている力を信じて待てるようになり、「待っていれば子どもなりの答えがでてくるだろう」と、子どもの自己決定に任せられるようになりました。

③教師の指導・援助及び子どもの学びの変化

明日をひらく都市
OPEN × PIONEER
YOKOHAMA

成果事例 2

子ども自身が園での経験を生かせる小学校生活のスタート

○スタートカリキュラムの見直し

- ・枠組みとしての「なかよしタイム」「わくわくタイム」「ぐんぐんタイム」から、園の環境を参考にした、園での経験が生かせる場や活動の工夫へ
- ・子どもの安心、自信が広がり、意識して取り組んだ学校では確実に登校しぶりが激減したという手ごたえあり



③教師の指導・援助及び子どもの学びの変化

明日をひらく都市
OPEN × PIONEER
YOKOHAMA

成果事例 3

互恵性のある交流活動へと変容

- ・5歳児の育ちへの理解
- ・園の取組へのリスペクト
- ・幼保と小の職員間の連携の深まり

○「年長さんにしてあげる」スタンスからの脱却(1年生)

○小学校からのアプローチをきっかけに、豊かな活動が生まれる(5歳児)



③教師の指導・援助及び子どもの学びの変化

成果事例 4

「入学準備の教育」ではなく、園本来の保育・教育の充実へ

小学校のスタンスが変化したことによる園側の安心

前：「入学までにできるようにさせないと・・・！」

・給食を時間内に喫食 ・椅子に座って過ごす ・鉛筆で字が書ける

後：「園で育ったそのままの子どもを受け入れてくれる！」

・園でだいじにしてきたことが、小学校でもだいじにされる
・成長段階の子ども育ちを大切にしよう

③教師の指導・援助及び子どもの学びの変化

明日をひらく都市
OPEN X PIONEER
YOKOHAMA

成果事例 5

互いのカリキュラムの柔軟な運用

○4月のスタートをどう切るか

・小学校の入学式

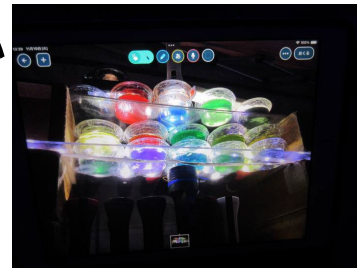


・隣の保育園の4月のスタート



○「光と影遊び」のつながり

・小



・園

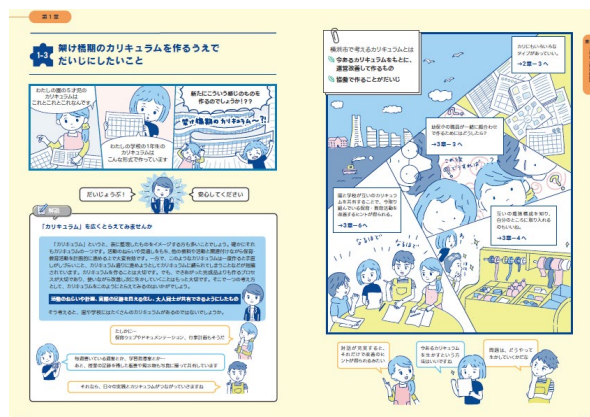


④持続可能とするための取組

第3段階 「保育・教育への反映を持続可能とするよう支える」 ～『見える化』と『運営・改善』のサポート～

I「横浜版接続期カリキュラム 架け橋プログラム編」の作成

各園校のカリキュラムの運営・改善の手掛かりとなる資料 2025/3発行



④持続可能とするための取組

第3段階 「保育・教育への反映を**持続可能とする**よう支える」
～『見える化』と『運営・改善』のサポート～

Ⅱ「環境構成」に焦点化した取組を支援

小学校の環境構成の工夫による教育活動の質の向上(講師派遣事業継続)



④持続可能とするための取組

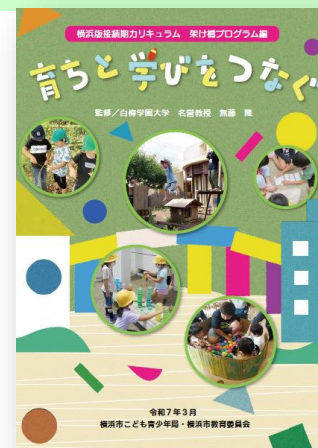
第3段階 「保育・教育への反映を**持続可能とする**よう支える」
～『見える化』と『運営・改善』のサポート～

Ⅲ幼保小教育交流事業・推進地区事業の充実

スタートカリキュラム公開授業のすそ野拡大 各ブロックへの直接的な支援

R7 カリキュラム研究推進地区(5地区)

R8～ 幼保小連携推進地区等に依頼し
将来的には全校で実施を目指す



★最後に・・・



子どもの「遊び」は面白い！
探究心を育む「遊び」研究会
～報告会～



参加自由・入場無料

2月1日(土) 12:15～15:00
@市庁舎1F アトリウム

横浜 幼保小 遊び 

こども青少年局保育・教育支援課幼保小連携担当